

スリーブクランプコア (インナーロック方式クランプコア) FCAシリーズのロック部解除方法

インタフェースケーブル等に取り付けるコアに対して、FCC、VDEでは「人が意図して取り外そうとしても、容易に取り外せない構造であること」を要求しております。

森宮電機㈱のFCAシリーズはこの要求に添うもので、ロック部がケースの内部に設けられているため、一度閉じると人の手では取り外すことが出来ません。EMC評価時や、誤ってケースを閉じてしまった場合は下記の要領でケースを壊すことなく開けることができます。

ロック部の解除方法

1. FCAシリーズのケース端部には、品番刻印側(FCA8K等)とMEC刻印側とにそれぞれ二個ずつの角穴があいております。
2. 品番刻印側(FCA8K等)の角穴に図の様な時計ドライバーを挿入し、ロック部のメス側を内側に倒すとロック解除出来ます。
この時、ドライバーはケースの円弧に対して、正しく接線方向に挿入して下さい。ドライバーの歯の幅は1.2mm以下のものをお使い下さい。

